



お久しぶりです。韓国での留學生活も約7ヶ月を迎えようとしています。韓国は、入学式が3月に始まるので、日本よりも約一ヶ月早く、夏休みも後期の授業も始まります。

祥明大學校はというと、今年は6月21日から夏休みで、8月24日から後期の授業が始まりました。後期の授業が始まってすぐ、熊本県立大学から韓国へ研修団が来られました。

- ① 左の写真：県大から来た学生と景福宮(キョンボクン)という韓国の古宮の前で撮影
- ② 右上の写真：スターバックス(스타벅스)コーヒー(커피)の看板がハングル(韓国語)版
- ③ 料理の写真：ビビンパ。石焼ビビンパは比較的最近登場したものらしく、この写真のビビンパは、おかずとコチュジャンを自分でご飯にのせて食べるものでした。

熊本県立大学からの研修団

9月3日(木曜)～10日(木曜)の約一週間、熊本県立大学の生徒15名が、韓国へ研修に来られました。韓国では2学期の授業が始まっていましたが、留学生である私は特別に韓国研修に参加できました。

県大からの研修生は、祥明大学・日本語文学科の生徒の家にホームステイをして約一週間を過ごしました。



右の写真は、県大の生徒とホームステイ先の韓国の生徒と一緒に、夕飯の※サムギョプサル(삼겹살：豚の三枚肉をサムチュという葉にくるんで食べる焼肉)を食べた時の写真です。県大の私の友達も研修に参加してくれました!!!

以下に、熊本県立大学と祥明大学校の生徒と共に(韓国研修で)巡った観光地を紹介します。

景福宮

キョンボックン 景福宮

경복궁

景福宮は 1395 年、朝鮮王朝初代国王・李成桂(イ・ソンゲ)により、創設された王宮。

約 200 年間、国王の在所であったが、壬辰倭乱(文禄・慶長の役)の際に、豊臣秀吉らによって王宮は焼失。1868 年に再建されるも、1910 年の日韓併合後、ほとんどの建物が撤去される。

景福宮は、1990 年代から復元事業が続いている。

♥ 景福宮の敷地内にある見所を紹介 ♥

クンジョンジョン

勤政殿

(근정전)



上

の写真は、景福宮の敷地内にある、勤政殿(クンジョンジョン)という正殿で、国王の即位式や、外国使者との接見など、国家行事が行われた場所です。勤政殿は、1395 年に建立されましたが、文禄の役で焼失後 1867 年に再建され、現在では韓国で現存する最大の木造建築物に指定されています。

また、この勤政殿には「王は勤勉に国を治めるべきである」という意味が込められています。そして、右の写真は勤政殿の中を撮影したものです。色使いが鮮やかで、奥には玉座も見えます。

写真を見ても分かると思いますが、韓国の王宮は、とても色使いが鮮やかなのが特徴です。模様に使われているのは、青・黄・緑・赤・白の五色で、これは風水に基づいて、水・土・木・火・金に対応しており、この世界はすべて、この 5 つの性質のどれかを持っていることを表しているそうです。

勤政殿 内部
(玉座)



景福宮 キョンボックン 景福宮 경복궁



ヒャンウォンジョン 香遠亭

(향원정)



香遠亭は、香遠池という四角形の池の中央に配置されており 1873 年に高宗国王が造った六角形の建物のことを指しています。この香遠亭は主に、高宗国王が詩を詠んだり、散策をして楽しんだとされています。また、高宗国王は新しい文物に興味があったため、この香遠池の水を利用し、朝鮮で初の発電を行ったとされています

私は、景福宮の中で香遠亭が最も美しい場所だと感じます。

コン チョングン 乾清宮 (건청궁)



高宗国王とその妃である明成(ミョンソン)皇后が暮らした場所。

乾清宮は他の古宮の建築様式とは異なり、主に**両班(ヤンバン)**：**朝鮮時代の貴族**家屋のように造られ、中国式レンガ造り、西洋式の建物などが取り入れられたそうです。乾清宮の「乾清」には、「天は清く」という意味が込められています。乾清宮は、2007 年 10 月に復元され、2009 年から通常開放となったので、景福宮の新たな名所です。木の温もりが肌で感じられて、とても温かい印象を受けましたが、屋根が非常に反り返っていて驚きました。

ソウルシティーツアーバス



ソウルシティーツアー2階バスに乗り、清溪川(チョンゲチョン: 청계천)という川沿いを走り、観光地「仁寺洞(インサドン: 인사동)」へ向かう。

チョンゲチョン
清溪川 沿いへ



インサドン
仁寺洞へ

仁寺洞は、仁寺洞キルを中心に茶道具や書道用品、陶磁器などの店が並び、韓国の伝統的な雰囲気が残る。土産品も種類が豊富で安いので、外国人観光客に人気のスポット

チョンゲチョン 清溪川 (청계천)

22もの多彩な橋がかけられ、川沿いには遊歩道も整備されていて、休日は多くの市民で賑わう。しかし、この清溪川が今の姿に至ったのは、最近のことである。

なぜなら、清溪川は、韓国の急激な経済成長で、生活廃水や高架道路が設置されたことを期に、一時、消えてしまったからである。

しかし、2002年のソウル市長選挙で、清溪川復元を公約に掲げたイ・ミョンバク氏が当選したことで、2005年10月に清溪川が復活された。

9月7日(月)

韓国民俗村

ハンググミンゾクチョン
~한 국민 족촌~

270棟の各地方農家とその生活様式、朝鮮時代の官庁等をはじめ、鍛冶屋、陶窯釜、書院、餅屋など、99部屋の両班(ヤンバン：朝鮮時代の貴族)の邸宅等を見ることができる。

公演① ^{ノンアク}農樂(농악)

右の写真は、**農樂(농악=ノンアク)**と言って、農民が豊作を祈願するために楽器を用いながら踊る伝統芸能を実演したものの。農樂の際、四つの楽器を用いて演奏することを「**四物の遊び (사물놀이=サムルノリ)**」と言い、以下の写真のものを用います。



「四物の遊び (사물놀이=サムルノリ)」で使う四つの楽器

名前：

① 장구(チャング)=鼓

② 쥬리(ケンガリ)=鐘



③ 징(チン)=どら



④ 북(ブク)=太鼓

意味：



(風)



(雲)

それぞれの楽器には、「雨」「雷」「風」「雲」の意味があり、金属製の楽器は天を表し、木と皮の楽器は地を表すと言われ、四つの楽器が奏でる楽曲は、天地・宇宙を表現する。

韓国民俗村

公演② 韓国伝統婚礼

伝統的に、結婚式は新婦の家で行われていたため、たいてい新郎は、「ゾランマル (조랑말)」と呼ばれる小型の駄馬にまたがり、新郎側の祝客たちは歩いて、新婦の家に行ったとされる。

右の写真は、新郎が新婦宅に到着し、「交排禮=교배례(キョベレ)」と呼ばれるもので、夫婦同士が初めて顔を合わせる挨拶を行ったもの。



伝統婚礼式の大まかな順序

「親迎」 친영(チニョン)	新郎が新婦の家に行き、婚礼式を挙げて花嫁を迎える禮。
「奠雁禮」 전안례(チョナルレ)	新郎が結婚の誓約の証として、新婦の母に、木製の雁を渡す際の禮。※雁は、生涯相手を替えず、もし相手が先に死んだとしても、新しい相手を迎えることがないため、夫婦のむつまじさの象徴とされた。
「交排禮」 교배례(キョベレ)	新郎と新婦が初めて対面して、お辞儀をする時の挨拶。
「合排禮」 합근례(ハクンレ)	夫婦になった印として、ひょうたんの盃を二人に分けて取り交わす。

公演② 結婚行列再現

韓国の伝統的な結婚式は、新婦の家で行ったため、右の写真のように、新婦の家から嫁ぎ先の新郎の家に行く、「結婚行列」が行われる。新郎の家に着いた後は、新郎側の両親や親戚に「幣帛謁謁 (ペベク)」と呼ばれる挨拶をする。



ペベク 폐백とは？

韓国の伝統的な**폐백**（ペベク）とは、新婦の家で結婚式を挙げた後、新郎の家で新郎の両親や親族に挨拶をするものでした。右の写真は結婚式後、家族や親族らとの記念写真撮影の様子。



現在の폐백(ペベク)



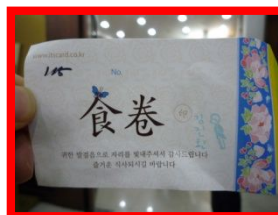
結婚式場で披露宴の後、폐백실（ペベクシル）と呼ばれる別室で、親族のみが集まって新郎新婦が両親に挨拶を捧げるもの。この時、新郎新婦は※**韓服(한복：ハンボク←日本ではチマ・チョゴリと呼ぶ服)**に着替える。そして폐백실（ペベクシル）には、長机が置かれ、その上に、栗や干し柿、ナツメなどが並べられる。

- ① 新郎新婦の両親に**큰절(クンチョル)**と呼ばれる深い礼をする。
- ② 新郎新婦の二人が白い布地を広げ、その布地の中に両親が栗やナツメをほうり投げる。※「**子宝に恵れるように**」という願いを込めて、**栗やナツメを、ほうり投げる。**
- ③ 新郎新婦の両親にお酒を新郎新婦が注ぎ、両親に差し出す。
- ④ 新婚旅行で使うためのお金を、両親が新郎新婦に渡す。



※ 右の写真→

폐백（ペベク）の間、結婚式に出席した人々は、**食券**をもらい、食事をする。





← 叩帛（ぺベク）終了後は、左の写真のように花などを飾った車に乗って、その日に、**そのまま新婚旅行**に向かうことが多い。

9月8日(火)

独立記念館 独立記念館

約 400 km²の美しい自然の中に、7の展示館があり、3・1 独立運動を始めとし、8万点を越える資料を保管している。



↓↓キョレの塔↓↓ ※独立記念館の中心にありシンボリックな存在

(キョレとは韓国語で「民族」を表す)



県大からの研修生と過ごして

祥明(サンミョン)大学の生徒の家にホームステイをして韓国の観光地を見学することで、韓国の文化や人々の温かさを直接、実感できる一週間だったと思います。そして似ているようで、やはり日本とは異なる文化を持っている韓国に、さらに興味を持ってもらえたと思います。私も徐々に、熊本の人と交流ができ、それまで気にしていなかった韓国の習慣や文化に、改めて気づくことができ、私にとっても貴重な時間となりました。残りの留学生活も様々なことに挑戦して悔いのないように過ごしたいです。

고토 유리카 (五島 由里香)

